

令和5年度 一般会計予算の歳入歳出総額

401億7,900万円

予算
審議

可決

令和5年度一般会計予算額は、前年度比13億9,300万円減の401億7,900万円、歳出の増減率は3.4%の減となりました。5年連続で400億円を超え、過去5番目の規模の予算額となっています。本年度の予算の特徴は、第7次多治見市総合計画の最終年度にあたり、「共につくる。まるごと元気！多治見」を仕上げる予算となります。また、4月末より新しい市長となるため、骨格予算^(※1)で編成されています。

予算科目別に見た前年度予算額との比較では、民生費、衛生費、教育費が伸びており、民生費は、前年度比5.6%、8億4,445万5,000円の増となりました。おもな要因は、児童発達支援センターの建設工事に伴う事業費の増大によるものです。衛生費は、前年度比7.7%、3億3,874万5,000円の増となりました。おもな要因は、三の倉センターの大規模整備に伴う事業費の増大によるものです。教育費は、前年度比7%、3億7,120万4,000円の増となりました。主な要因は、笠原小中一貫教育校の建設工事および笠原中央公民館の大規模改修工事に伴う事業費の増大によるものです。

骨格予算^(※1)…新市長により、予算の使い方が変わる可能性があるため、継続的な市民サービスの実施等を基本に編成された予算

令和5年度の事業の一部を紹介

笠原小中一貫教育校建設事業費

2億9,685万円
(万円未満切り捨て)



笠原小中一貫教育校完成イメージ図

笠原地区の小中一貫校（義務教育学校）の建設に向けた取り組みを進めます。

児童発達支援センター統合整備事業費

5億484万円
(万円未満切り捨て)

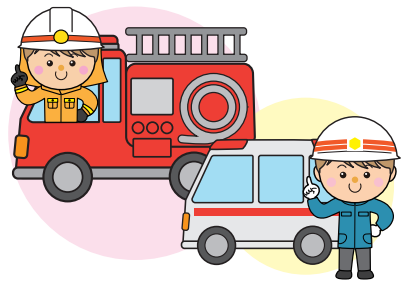


児童発達支援センター完成イメージ図

発達支援センターなかよし・ひまわりと幼稚園2カ所で実施している「ことばの教室」を統合し、脇之島町の旧薫南幼稚園を新たに児童発達支援センターに改修・増築する経費です。

北消防署移転整備事業費

1億5,453万円



老朽化した北消防署庁舎の移転整備事業を進め、消防体制の充実強化を図ります。令和5年度は、造成工事および建築物等の設計を行います。

三の倉センター大規模整備費

9億2,294万円



三の倉センター焼却施設の長寿命化を図るために改良工事を令和3年度から5年度にかけて行います。総額は、21億1,310万円となります。

笠原中央公民館施設整備費

6億4,246万円
(万円未満切り捨て)



築38年を経た笠原中央公民館の大改修工事を行い、笠原児童館機能の移設等とともに、施設の長寿命化を図ります。

新本庁舎建設事業費

3億5,835万円
(万円未満切り捨て)



新庁舎検討市民委員会を開催し、基本構想および基本計画の策定ならびに基本設計を行います。建設準備のため、地質調査や埋蔵文化財発掘調査などを行います。

この議会だよりは1部当たり12.38円(税込み)で、40,300部作成しています。



リサイクル適性^(A)

たじみ議会だよりは環境に配慮した再生紙と植物油インキを使用しています。この印刷物は、Aランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物を破棄する時は、燃やさないで、資源回収等に出しましょう。